



笑顔あふれる泉大津市!!

笑顔でこどもがのびのび遊べる広場を！
笑顔で挨拶が飛び交う町を！
笑顔でみんなが助け合う町を！

平成22年市議会第2回定例会での一般質問概要

①市立病院の会計と寄附講座について

事前に市民の方より会計の待ち時間が長くなったという話を伺っていたので、市立病院へ3日間通いました。そして、実態を確認し、自動清算支払い機の導入を提案しました。すると病院側もこの件は、気になっていたようで、すでに機械導入を考えて、選定に入っている段階でした。この秋には導入できるとのことでした。

次に、関西医科大学と大阪市立大学との間で寄附講座を開設することになったと、先般新聞報道がなされた点について、あらためて病院側に確認しました。

公立病院が大学と寄附講座をもうけるのは初めての試みであり、この講座を開設することにより、いろんな勉強もでき、しかも泉大津市立病院の医師確保にも繋がります。今後の病院にとっては大変良いという事であり、期待したいと思います。

最後に、病院のシステムが良くなり、先生方の知識が向上されるのはとても大事な事ですが、やはり私が一番大切だと思うのは、「先生方が患者を思いやる気持ちだと思います」と病院長に訴えました。

②災害時避難場所での対応について

通常、浜校区の避難場所は浜小学校ですが、南海・東南海地震等で津波警報が出た場合には上条小学校へと変わります。その場合、上条小学校に浜校区・上条校区からの避難者が集中する事になり、「果たしてトイレなどの水周りの対応は出来るのか？」という点について質問しました。

実際、阪神淡路大震災の時は、水が一番困って、トイレは流せず、どんどんたまり大変な悪臭を放っていたそうです。

こういう大地震に対してのシュミレーションは出来ているのかも確認しましたが、なかなかそこまで細かいシュミレーションは出来てないようです。

水の対応にしても、プールの水で対応との事でしたが、それで万全と思うか確認したら、そうではないと思うとの答えでした。

1つの例として、雨水貯留タンクや雨水浸透ますの設置等を提案しました。

★ 映画「降りてゆく生き方」主演：武田鉄矢 を鑑賞して

私は、今年の4月に他府県の議員の紹介で、「降りてゆく生き方」という映画の存在を知りました。

この映画は「劇場公開」「DVD販売」「商業的宣伝・広告」という手段は一切取らず『人から人へと語り伝える』草の根の上映会をしている映画です。

それは、人と人との出会い・対話・つながりを大切にする映画だからです。

昨年8月29日に1日だけ大阪上映会がドーンセンターで開催されましたが、当時、私はこの映画の事は知らなくて、見る事が出来ませんでした。

今度はいつ上映されるかと気になって、調べて見ると6月29日に上映会がある事が判り、ようやく観ることができました。

上映の前後には主催者との語らいもあり、内容も大変素晴らしくて感動しました。

私たちは、今まで高度成長期の波に乗って、ひたすら上へ上へと目指して昇って行く生き方をしてきました。しかし、ひたすら上を見て昇って行く時には、足元の下の方で苦勞している人の生き方や、そこで起こっていることは決して見えてきません。ところが、降りていく時は、しっかりと足元を見ていかないとつまずいてしまうから、よく足元の状態がわかるのだという話しが映画の中でありました。

私も市議会の議員として、泉大津市を良くしたいと、良い方へと上をばかり見ていたような気がして、足元をきちっと見れてなかったのではと、ガツンと殴られたようなショックを受けました。

昇っていく生き方から、降りてゆく生き方まで、人々の幸せを考えた時に大変重要なコンセプトが詰まった映画に出会ったと思いました。

また、発酵と腐敗についても、映画の中から重要な学びがありました。

発酵と腐敗とは同じことなんです。人間にとって有益だったら発酵とよばれ、有害だったら腐敗とよばれるのです。自分のもの、自分のお金、自分の成功、自分の自分のという我欲は腐敗を招きます。

「その道をとことん体験してはじめて腐敗にいきあたって、そして発酵の大切さがわかる人も必ずいます」という重要な気づきと学びを得ることも出来ました。

この紙面をお借りして皆さまにご紹介させていただきました。

おひとりでも多くの方にご覧いただきたいと思います。まずは、下記公式サイトをご覧ください。

「<http://www.nippon-p.org/concept.html>」

ご賛同いただける方がいらっしゃれば、この映画を泉大津で上映出来るように、主催者に働きかけたいと思っています。